

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成30年3月22日(2018.3.22)

【公開番号】特開2017-220910(P2017-220910A)

【公開日】平成29年12月14日(2017.12.14)

【年通号数】公開・登録公報2017-048

【出願番号】特願2016-116558(P2016-116558)

【国際特許分類】

H 03H 9/17 (2006.01)

H 03H 9/68 (2006.01)

【F I】

H 03H 9/17 F

H 03H 9/68

【手続補正書】

【提出日】平成30年2月7日(2018.2.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

圧電薄膜共振器に大きな電力が入力すると、圧電膜のc軸方向に依存した非線形性に起因し、出力信号に2次高調波が発生する。そこで、圧電膜の2次高調波を抑制するように圧電薄膜共振器を分割することが知られている(例えば特許文献1、2)。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0059

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0059】

出力端子T<sub>out</sub>から出力される2次高調波の大半は、直列共振器S1からS4のうち出力端子T<sub>out</sub>に最も近い直列共振器S4および/または並列共振器P1からP3のうち出力端子T<sub>out</sub>に最も近い並列共振器P3から放出された2次高調波である。これは、入力端子T<sub>in</sub>側の共振器から放出された2次高調波は出力端子T<sub>out</sub>側の共振器を通過する過程で減衰するためである。そこで、フィルタAからCでは、出力端子T<sub>out</sub>に最も近い直列共振器S4および/または並列共振器P3に共振回路22を設けている。

【手続補正3】

【補正対象書類名】図面

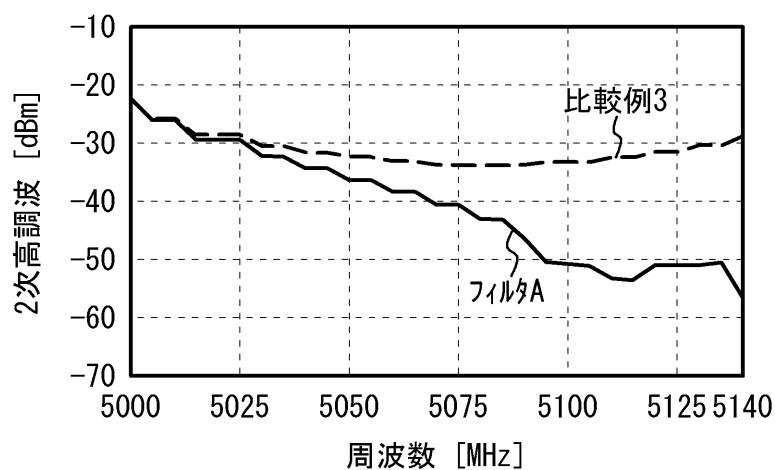
【補正対象項目名】図15

【補正方法】変更

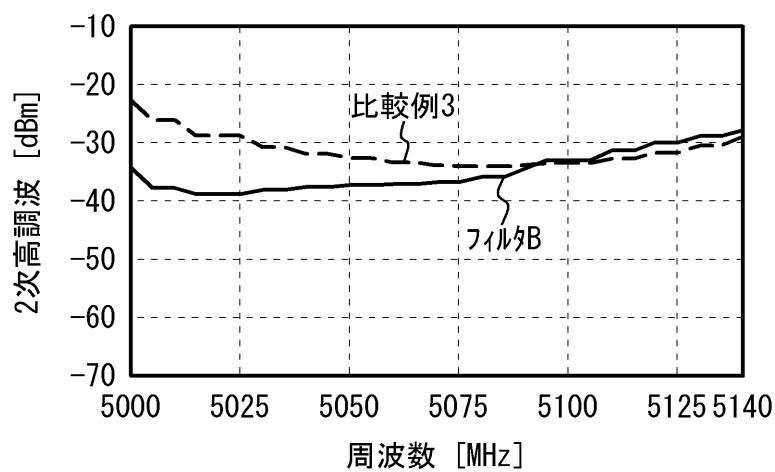
【補正の内容】

【図 1 5】

(a)



(b)



(c)

